

ROTARY INTERNATIONAL
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 365

Kojiro Kitamura

c/o Otsu Chamber of Commerce

& Industry

1-3 Uchidehama, Otsu

Shiga, Japan



第365区ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

No. 6

昭和41年11月15日

国際ロータリー
第365区ガバナー

北村孝治郎

ロータリーでよりよい世界を

A Better World Through Rotary

手に手つないでロータリアン

家族ともども 2,000人

盛況だった第365区年次大会

オオキニ・アリガトウ ホスト堺R. C.

1966年度国際ロータリー第365区年次大会は
10月29日から31日までの3日間、堺市民会館で
開催された。

幸いにして秋晴れの好天に恵まれ、北村ガバ
ナー主宰のもとにR. I. 会長代理 William. R.

Robbins 氏夫妻、堺市長河盛安之介氏、第368
区ガバナー難波氏、地区直前ガバナー岡島氏、
パストガバナー北沢、直木、今田、堀場、山岸、
柏原、秦、緒方、堀内、神守の諸氏を来賓として
迎え、集った会員家族も含んで実に1,960名、一



地区単独の大会としては非常な盛会であった。

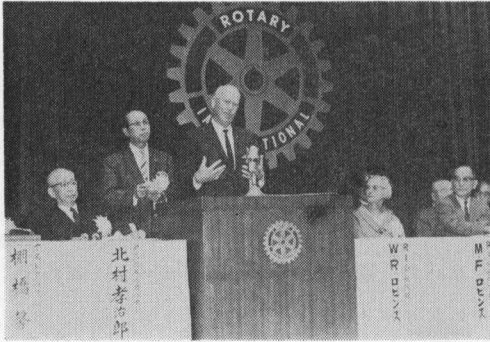
前夜懇談会

10月29日（土）堺市民会館

R. I. 会長代理ロビンス氏夫妻を迎え、パストガバナー多数ご臨席の下に、地区内全クラブ会長及び幹事が出席して、午後3時から大会幹事村田氏の司会によって開かれた。

北村ガバナーの挨拶、来賓紹介の後会長代理ロビンス氏にはこやかに、そして大会委員長尾形氏は謙虚に、それぞれ挨拶、終ってパストガバナー岡島氏がリーダーとなって、大会決議案の審議が行なわれた。

午後5時終了、引き続き晚餐会が開かれ、なごやかなムードの内に午後6時解散した。



大会第1日

10月30日（日）堺市民会館

定刻前地区内各地から参集した会員は、ホストクラブ堺R. C. 及びコ・ホスト各R・Cの会員家族の温い出迎えを受けて、行き届いた同クラブの配慮による予め指定されてあった各自のシートに、スムーズに着席。

午前10時、高らかに鳴りひびくファンファレールとともに開幕。

大会幹事村田氏が明快な口調で開会宣言、国歌、ロータリーソング奉仕の理想斉唱、大会委員長尾形氏、謹厳な態度で開会の辞、

新クラブの紹介——特別代表井関氏の努力によって誕生した粉河クラブを、北村ガバナーから紹介、同クラブ会員が一斉に起立すると、全会員は破れんばかりの拍手を送った。

歓迎の辞——まずホストクラブ会長棚橋氏が2,000人のロータリアンを迎えてこの大会を開くに至った喜びを卒直に披瀝すれば、続いて立った堺市長河盛氏は、自分も堺R・Cの会員の一人である、市長として皆様をお迎えすることができるのを、心からうれしく思うと、力強く述べられた。

ガバナーアドレス——ついで演壇に立った北村ガバナーは、地区内一般状況を述べるとともに、会員に対しロータリーの本質をさらによく勉強し、その上に立ってロータリーの拡大をはかること。尚会員はもっと国際感覚を身につける必要があると強く要望した。

R. I. 会長メッセージ——北村ガバナーに招かれて演壇に立ったロビンス氏は満面に笑みをたたえながら、“妻とともに来日以来、日本のロータリアンから頂いた並々なぬ友情と親切に対し、心から感謝します。私は残念ながらお国の言葉が話せませんが、通訳の酒井さんがより良いスピーチに直して下さることとなっています。又先程から私にスポットライトが当てられていますので、私の頭に反射してみなさんはさぞまぶしいでしょう。どうぞしばらくかんべんして下さい。、と冗談をまじえながら前置きして、R. I. 会長メッセージを述べられた。

エバンス会長の提唱した“A Better World. Through. Rotary”は“人間がなさねばならぬことに全力を尽さないのは、義務を果しているとは言えない、”という考え方に立脚して、その具体的なものとして“Ten things to do”を示しています。

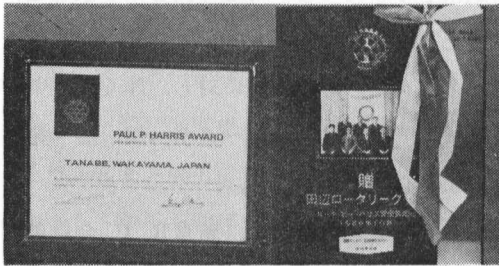
これらを実践することによって、ロータリー

の理想を確認し、組織としてのロータリーを強化することになるのです。そのためにはロータリーの組織をできるだけ簡潔に保つとともに、ロータリー独特の同一性を持ち、且弾力性のある計画を以て対処すべきであると強調されました。」

○資格審査委員会報告

○岡島直前ガバナーに記念品贈呈——別項ハイライト参照

○ポール、ハリス賞副賞授与——去る7月の地区協議会で、ポール、ハリス賞の伝達を受けた田辺クラブに対し、北村ガバナーから写真のような副賞が贈られ、一同拍手を以てその栄誉をたたえた。



○出席優秀クラブ表彰——第1位の鯖江R. C. に続いて和歌山東、河内長野、近江八幡、彦根、五条、橋本、茨木、舞鶴、泉大津の順に優勝旗及び優秀旗が渡された。終って昼食。

○午後は1時から部門別協議会が開かれた。

鉄鋼ビル、商工会議所等に設けられた会議場へ、会員はバスにて出席、その間関係のない会員及び家族は映画を観賞。

○午後3時 全員会場に参集して会議再開、

○物故会員のために黙禱——まず国際ロータリー副会長であった日本ロータリーの功労者小林雅一氏の御霊に、続いてパストガバナー中野静夫氏他55名の御霊に敬けんな黙禱を捧げご冥福を祈った。

○講演 近世界の鉄砲鍛冶——文学博士 末永

先生のお話はまことに興味津々たるものがあった。特に会場に文献その他色々なものが陳列されてあったのは、大へん参考になった。

○登録委員会報告

○選挙委員会報告

○ガバナーノミニー挨拶——北村ガバナーより紹介された平沢興氏は演壇に立って、自信と決意の程を堂々と述べられた。

○インターアクトクラブ紹介——堺市立工業高等学校のインターアクトクラブを北村ガバナーが紹介すると、舞台の両袖からクラブ員21名が校長及び担任の先生とともに、校旗とインターアクトクラブ旗を先頭に堂々と入場、宮本校長が感激に満ちた口調で挨拶をされた。

○パネル討議 公害について——モデレーターには岡島パストガバナー、パネルメンバーには、企業経営者としての上野氏(大阪)

一般的に公害が少ないと思われる観光地京都の不破氏、お医者さんの立場から堺の棚橋氏によって大へんためになる意見が開陳されたが、さてこれからと……いうところで、時間切れになってしまったのは、まことに残念だった。

○R. I. 会長代理に記念品贈呈——堺R・C会員田辺竹雲齊氏(日展審査員)の手によって特に製作された見事な竹製の花活けが夫々ロビンス氏夫妻に北村ガバナーから贈られた。(別項ハイライト記載参照)

○以上で第1回の主要行事を終る。余興長唄蓬萊、舞踊にっぽん国土記を観賞した後“それでこそロータリー”を合唱して晩餐会場へ。

○午後7時から大阪ロイヤルホテルで開かれた晩餐会場へは、約800人の会員が集ってお互いに飲を尽し、大いに親睦を深めた。

その席上、親睦ゴルフ会の優勝者、下記の

人々へそれぞれ賞品が贈られた。

ガバナー杯 (明治組)

原田 富一 (堺 R. C.)

会長杯 (大正昭和組)

山本 亀次 (堺 R. C.)

大会第2回

10月31日 (月) 堺市民会館

- 開会午前10時 R・O・T 斉唱
- 部門別協議会報告——クラブ奉仕A, リーダー西居氏 (大津) 同B, 中村氏 (奈良) 同C 小川氏 (和歌山) 職業奉仕, 黒川氏 (福井) 国際奉仕, 西川氏 (大阪) 社会奉仕, 不破氏 (京都) 青少年奉仕, 小西氏 (大阪南) の各氏からそれぞれ報告があった。
- 講演 ロータリーに心をよせてと題して 経済学博士, 飯島幡司氏 (大阪 R・C) から極めて有益なお話があった。
- 決議委員会報告——決議委員長, 平井常次郎氏 (大阪南) から下記の通り報告され, 満場一致採択された。
 - 決議第1号, 国際ロータリー会長代理派遣に対し感謝の件
 - 同 第2号, エバンス会長の年度実践目標達成に協力の件
 - 同 第3号, 66—50決議案に関する件
 - 同 第4号, アジア地区における理事推せん方法に関する件
 - 同 第5号, 会長指名推せん委員会に関する件
 - 同第6号, 国際ロータリー大会日本招致に関する件
 - 同 第7号, クラブ細則第7条第一節(イ)の改正をR. I. 理事会に要請
 - 同 第8号, 当地区直前ガバナー岡島美行君

に対し感謝の件

同 第9号, ホストクラブ。コ・ホストクラブ並びに協力諸団体に感謝の件

同 第10号, 次年度年次大会開催地の件

○米山奨学生 鐘維源 (韓国)

○日伊交換学生ドミニコ・カントーレ (イタリア)

両君とも日本語で所感を述べられた。

以上で3日間の行事は, 滞りなく終ることとなったが, ここでロビンス氏が立って, 次のような挨拶をされた。

“本大会が極めて多数のロータリアンの出席を得て, 非常に盛会に且順調に運営され, 多大の成果を挙げたことに対し, 衷心より敬意を表するとともに, ホスト・クラブ堺 R. C. 及びコ・ホストクラブの皆さんに対し, 厚くお礼申し上げます。今後日本のロータリーが, 益々発展するよう心から祈ります。,,

○参加クラブを代表して, 新宮 R. C. 会長栗栖氏が町重なる謝辞を述べた。

○次期年次大会開催地に選ばれた, 田辺 R. C. 会長橋本氏が大会開催に対する決意と覚悟を述べ, 各クラブの協力を要望する旨挨拶された。

最後に北村ガバナーが立って, 大会が無事終了したことについての感激と, 町重なる謝辞を述べて昼食となった。

午後余興“剣の宴,, を観賞

○大会副委員長, 奈良吉太良氏より閉会の言葉を述べられた後, ロータリーソング“手に手つないで,, を斉唱, 続いて“螢の光り,, を歌いながら一年後の再会を約して, 別れを惜しみつつ散会した。

大会ハイライト

1. 第1球——ボール？

いくらコントロールのよい投手でも、たまにはとてつもないボールを投げることもある。それと全く同じようなことが、この大会のへきとくに起った。



即ち司会者がロータリーソングとアナウンスすると、奉仕の理想のメロディが会場に流れ初めた。悠々と壇上に立ったソングリーダーの酒井さん、両手を拡げて声高らかに歌い出したのが“我等のなりわい……”。みんなアッと思った瞬間ご本人もすぐに気づかれたのか、“奉仕の理想に……”，と歌われたのですぐそのリズムにのって、2,000人の大合唱となったが、この第1球ボールは、緊張した会場の気分をほぐすのに、大きな役割りを果たしたようだ。

1年に1回の地区大会、しかも2,000人も集っている大会ともなれば、その役員諸氏は非常な緊張感を持っていられたと思うし、又大会の迂り出しがスムーズに行くよう願っていられたことだろう。

ところがソングリーダーとして、日本一とも言うべき酒井さんが、このようなエラー？をされると、大会委員長以下役員諸氏は、なんとなくホッとされたのではないかと知ら。緊張した気分が一ぺんに解消して、それからあとは軽い気

持ちになられたことと思う。

とにかく予想外の演出であり、ほほ笑ましい大会のスタートであった。

2. 歌のお上手なロビンス夫人

ロータリーソング“奉仕の理想”，を歌いながら、壇上のロビンス夫妻を眺めると、夫人の口もとは、日本語のこの歌を正確に歌っていらっしゃるように見受けられた。

そばに立っていらっしゃるロビンス氏は、その夫人の横顔をちらりと見ながら、うれしそうにはほほ笑んでいらっしゃる。

このご夫妻の仲むつまじい光景は、参加者全員に対して、非常に深い感銘を与えたばかりでなく、会場の空気を大へんなごやかなものにした。

大会のトップを飾るのにまことにふさわしく且つ美しい情景であった。

3. オオキニ、アリガトウ

第1日の午後、会長代理ロビンス夫妻に対して、記念品が贈呈された。

まず夫人に北村ガバナーから、竹製の花かごが贈られた。夫人は外側はもちろん、中の水入れの包紙まで全部取って、心からうれしそうにいられたが、つつかつと1人演壇に上って満面に笑みをたたえ、両手を大きく拡げながら、はっきりした日本語で“オオキニ、アリガトウゴザイマス”，と呼ばれた。

満場の会員は、この思いもよらぬ夫人のお言葉に、一瞬アッけに取られたようだったが、すぐに大きな拍手の渦となって、場内は興奮のるつぽと化した。

さらにロビンス氏にも記念品が贈られたが、その直後夫人は再び演壇に立たれた。何を言われるのかなと思っていると、“先程おどったきれいな2人のお嬢さんも、一緒に頂いて帰りたいと思います”，と言われたのでみんな大喜び

会場が破れんばかりの大きな拍手で、このお言葉におこたえた次第。

4. 巧まざるユーモア

北村ガバナーが次期ガバナー平沢興氏を紹介されたときのこと“平沢さんのことについては今さら私から喋々する必要はないと思うが、と前置きして、生年月日、学歴、職歴、ロータリー歴など型通り述べられたあと、クルリと隣りに立っている平沢さんの方を振り向いて、“まだ他に何かありましたかいな、”と言われた。



これには、みんな大笑い、ご当人の平沢さんも首を横に振りながら微苦笑することしばし。

全く巧まざるユーモアと言うか、北村ガバナーの天心爛漫な

性格まる出しのシーンであった。

5. パント・マイム

第2日の午後、大会決議が採択されたあと、北村ガバナーが1人飄々たる歩みで、反対側の堀場パストガバナーの席へ近づいて行って、ニコニコしながら何か話しかけていられる。それを受けて立った堀場さん、丁度えびすさん見たいなお顔で、笑いながら答えていられる。

遠くから見ていると、話声は全く聞こえない。分かるのは2人の口の動きと表情だけ。

北村ガバナーが何かをすすめていられるのに対して、堀場さんが照れながら、ためらっていらっしゃる様子。

やがて話がついたのか、北村さんが堀場さんの肩に手をかけながら、2人揃ってニコニコと

壇の中央に進まれた。

そして北村ガバナー曰く、“皆さん、既にご承知の通り、堀場さんは今回文化功労章をおもらいになりました。皆さんと一緒に心からお祝いしましょう、”と紹介された。

先刻からのパントマイムは、なるほどこれだったのか、と漸く諒解できた。

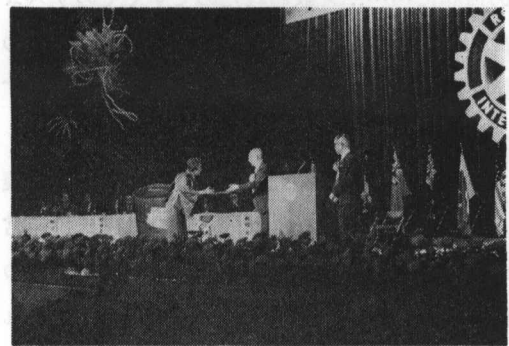
満場の全会員は、堀場さんに心からなる拍手を送り、その榮譽をたたえた次第。

プログラムになかったパントマイム的一幕であった。

6. 心憎いばかりの演出

資格審査委員会の報告が終ったあと、突如場内がうす暗くなって、舞台のある一点にスポットライトが当てられた。尺八、琴、三味線の三曲合奏による茶音頭が初まると、舞台のせりが静かに上がって来た。

ふと見ると、それには模型の大きな抹茶茶碗があり、そのそばに棚橋会長夫人夏子さんが、岡島直前ガバナーに贈る記念品を持って立っていた。



場内が明るくなくなって、北村ガバナーが棚橋夫人からそれを受取り、満場拍手の内に岡島氏に贈呈された。

このシーンは一見なんでもないことのようにだが、岡島氏に記念品を差し上げるのに、北村氏

から同氏へストレートに渡すのでは、余りにも無味乾燥だというわけで、このような演出を考えられたようだ。

ロビンス氏夫妻に記念品を贈呈するときも、可愛いお嬢さんが2人、舞台の両袖から踊りながら出て来られた。

とにかく3日間の大会を通じて、至る所に細心の配慮がなされていることを、しみじみと感じとることができた。

粉河 R. C. 誕生

KoKawa R. C. Admitted to R. I.



蓬谷会長



沢田幹事

かねてから井関氏（和歌山 R. C.）が特別代表となって、設立が進められていた粉河 R. C. が10月31日附で認承された。

会長 蓬台雅一

幹事 沢田正久

会員数 22名

例会日 水曜日

例会場及び事務所

和歌山県那賀郡粉河町粉河1760

幸福相互銀行粉河支店 TFL粉河215番

「万国博ロータリー組織委員会」結成 組織委員に7氏を委嘱

Rotary Organizing Committee of The
Japan World's Expositin, Osaka 1970

1970年（昭和45年）の春から秋にかけて6カ月間、大阪で開かれる日本万国博覧会には、国

の内外から数万に上るロータリアンの来訪が予想されます。これらの方々に相互理解と親善のための機会と場所とを提供する目的を以て、万国博覧会場内にロータリークラブの例会場を常設する計画が進められることになりました。

このロータリー例会は、博覧会期間中、日曜祝祭日を除いて毎日、合計150回以上開催の予定でありまして、第365区が中心となり、さらに隣接地区内の諸クラブに参加をお願いせねばならぬことと存じます。

この準備のための第一着手として「万国博組織委員会」を結成し、第360区及び第368区のガバナーともご相談の上、次ぎの諸君に「万国博ロータリー組織委員会」の委員をお願いしました。

委員長 森 寿五郎（第365区元ガバナー）

委員 岡島 美行（同上直前ガバナー）

ク 塚本 義隆（大阪 R. C. 会員）

ク 安野 譲次（第360区元ガバナー）

ク 神野 太郎（同上直前ガバナー）

ク 滝川 清一（第368区元ガバナー）

ク 沖 豊治（神戸 R. C. 会員）

尚「万国博組織委員会」は準備活動を開始しますので、各クラブのご協力とご支援とをお願い申し上げます。

ニースの国際大会

Rotary International Convention in Nice

1967年の第58回国際ロータリー大会は、来る5月21日から25日までの間、観光地として世界的に有名なフランスのニースで開催されます。大会事務局並びにホストクラブでは、種々のプログラムが計画されているようでありますから機会のあるロータリアンは是非ご出席下さい。尚宿泊予約申込用紙及び登録用紙は、12月中旬